

令和5年度 徳島県立総合大学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和6年3月22日（金）
- 2 場 所 徳島グランヴィリオホテル1階 グランヴィリオホール
（徳島市万代町3丁目）
- 3 出席者
 - （1） 委 員 21名中16名出席（別添「名簿」参照）
 - （2） 大学校幹部 榊副校長（県教育長）
玉田県立総合大学校本部長、各学部長ほか
 - （3） 事 務 局 杉生事務局長、阿部副事務局長ほか
- 4 次 第
 - （1） 開 会
 - （2） 議 事
 - ① 県立総合大学校の運営状況について
 - ② その他
 - （3） 閉 会
- 5 配付資料
 - （1）資料1 総合大学校「まなびーあ徳島」の取組について
 - （2）参考資料 令和5年度開催事業（主なもの）
 - （3）その他 徳島県立総合大学校設置要綱
徳島県立総合大学校運営協議会設置規程
- 6 議事概要
 - （1） 開会
 - （2） 議事

○事務局

徳島県立総合大学校運営協議会を開催いたします。本日は年度末のお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。大学校長である後藤田知事は本日所用により欠席となりましたので、早速進めさせていただきます。

まず、委員のご紹介をさせていただきます。

昨年4月1日から、学校法人穴吹学園理事・校長、石丸憲治様に委員を就任いただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは議事に移りたいと思っております。運営協議会設置規定第四条第一項に基づき、会長が議長となると定められておりますので、これから以降の議事の進行は佐野会長にお願いいたします。佐野会長よろしくをお願いいたします。

○会長

よろしくをお願いいたします。では、早速議事に入らせていただきます。運営協議会は設置規定第二条にありますように、大学運営に関しまして委員の皆様からご助言ご提言を頂く機会でございます。本日の会議ですけれども、少し短くて午後2時30分を終了予定といたしております。できる限り多くの皆さんにご発言を頂きたいと考えております。議事のスムーズな進行にもよろしくお願いをいたします。

では、まず議事第1「県立総合学大学校の運営状況」について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

議事（1）「県立総合大学校の運営状況」について説明

○会長

ありがとうございました。本当はいろんなご意見ご提供を頂きたいところですが、今回は事前に委員の皆様にご意見を伺うべく、通知依頼をしておりました。二名の方からご意見を賜りましたので、まずその二名の方に簡潔に教えていただきたいと思います。

○A委員

高齢者のとくしま学博士として活動しているのはいいことだと思うんですけども、詐欺被害、振り込み詐欺とか詐欺がすごく多いと思うんです。投資業務をするには、金融庁の許可がいるから、電話がかかってきた時はこの業者は許可を得たり、正規の業者であるのかいろいろ確認する。それを確認したら、被害は起こらないと思うんです。ですから、経済とか金融の基礎知識が高齢者にも必要と思うんです。それを講座としてして頂いたらいいなと思っています。以上です。

○会長

ありがとうございました。A委員さんからは、お立場上、いろいろ思い浮かべ、その上で投資の講座をお願いしたいと同時に、あとは悪質な詐欺などが流行っておりますので、そういうことに関しての講座についてご意見を賜りました。

スマホ体験教室などについてご意見を伺っておりますので、どうぞお願いをいたします。

○B委員

よろしくお願いいたします。毎年同じような発言ということで申し訳ないと思っておりますけれども、よろしくお願いいたします。e-とくしま推進財団の方ではいろんな活動をしているわけなんですけれども、この総合大学での講座に関連するようになっている、補足説明をさせていただきたいと思います。

配布して頂きました資料の参考資料をご覧になって頂きまして、その2ページ目の下の方にシニア向けのスマホ活用講座というのがございます。こちらの方では、県のほうから初級・中級ということで高齢者を対象にした、スマートフォンの取り扱いということでされていますけど、いろんな盛りだくさんの内容を講習されているかと思いますが、今回我々の方はこれを受けまして、さらにまた別の活動ということになりますけれども、総務省の方の支援と徳島県からの、財政的な支援を頂きまして、独自に講習会を開催しております。その概要について報告させていただきたいと思います。

特に今年につきまして、この事業につきまして、令和四年度、五年度、六年度これからということになりますが、二年間継続して開催しております。参加して頂く高齢者の方も含めて、今年度は延べ17回開催いたしまして530名の方にご参加いただいております。

さらに違う講座ということで、スマホの相談会というものを設けました。日頃、店のほうに行って説明を受けても、なかなかあっさりとした説明しかいただけなくて、自分の納得するような説明を受け入れられなかった、という人もたくさんいるということもありまして、そういうニーズがあるということで、3市の徳島市、阿南市、三好市で合計700回開催させていただきました。非常に参加される方が日頃、なかなか来づらくて、わからなかったことが、よくわかりましたということで、非常に満足度の高い相談会になったかと思っております。

ただ、今回530名の方々に参加していただきましたけれども、原則は高齢者65歳以上の方を対象としておりますけれども、なかには障がいを持つ方を対象とした、スマホ体験教室ということで、今年につきましては、身体障害者連合会、視聴覚障がい者交流センターの方からも講習会のお申し込み等がございましたので、そちらの方にも対応をさせていただいております。特に聴覚障害の方につきましては、手話をつけたりとか、要約筆記をつけたりということで、できるだけわかりやすいように、開催に当たりましては、講師

1名と、サポーター、支援員が2名つくんですけれども、もう少し増やして一対一のような状態で、聴覚障害の方々に対応させていただいて、そういう方々のニーズのプライベート引き受けまして、さらに開催を続けていきたいと思っております。

来年度につきましては、財団の今まで積み立ててきております積立金等を使ったり、諸処の支援を頂く中で、さらに今回頂いたいろんな技術を発展させていって、特に最近は生成AIですかね。AIを使ったものがスマートフォンでも、使われるようになってきております。マイクロソフトでありますとか、Googleとかっていうものが、生成AIをのせております。非常に簡便に、いろんな質問に対して的確な答えを出してくれておりますので、そういったものも令和六年度については取り入れていって、さらなる、デジタルデバイドの解消に努めていきたいと考えております。以上でございます。

○会長

どうもありがとうございました。B委員さんにはe-とくしま推進財団の取組をご紹介いただきました。デジタルデバイス解消への取組、スマートフォンの活用の取組、ありがとうございました。ここからはどなたからでも、どのテーマについても意見をお伺いしたいと思います。時間が限られておりますので、積極的にご発言いただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○C委員

参考資料の一ページ目にあります、とくしま・ひと・まちづくり実践講座に私参加させていただきました。これはオンラインとリアルハイブリッドの講座だったのですが、オンラインで研修を申し込んで、オンラインで受付申し込みが一旦完結したんですけれども、その後で紙で開催前にズームのどこに入ってパスワードはこれですと、紙で送られてきたんですけれども、結構そういう扱い珍しいなと思ってまして、こういうのってデジタルにどんどんできるんだろうかと、お申込者に対して今時郵送するのはかなり珍しいなと思って、事務フローを拝見してたんですが、そののところって、高齢者の方が多いからなのか、それともオンライン化の過渡期にあるからなのか、どっち側なんだろうかなと思って、疑問に思いましたので、ご質問させていただきます。

○事務局

ひと・まちづくり実践講座に関しましては、非常に多くの方々から申し込みもいただきまして、オンラインのような実施ということで、ズームのパスワードであるとか、IDとかを、いかに受講者の方に正確にお伝えするかというところでメールアドレス等も、申し込みの方からお伺いしておるんですけれども、例えばジメールやったら、突然メールが、相手方まで十分届かない事案が発生したり、高齢者の方になりますと、いろいろなメールのセキュリティ面からブロックがかけられておりまして、ドメインの概要はなかなか高齢

者の方は難しい部分もございまして、メールで配布したいなとこちらの方思ってるんですが、正確に届きづらいということがございます。

他の講座におきまして、高齢者の方に関しまして、紙媒体で送っていただいた方がZoomにも参加しやすいという意見も聞いておりますので、今のところ当面は、紙媒体での配布郵送という形を取らせていただいておりますが、ゆくゆくはデジタルのリテラシーが高まってきた折にはメールでの配信も検討していきたいなというふうに考えている次第でございまして。以上です。

○C委員

高齢者の方が多からという理由は、理解できる場所ですので様子を見ながら進めていただければと思います。また、内容はとても良かった。特に三の方は、今まで聞いたことない話がいっぱい聞きましたので、本当に有意義なことだと思います。ありがとうございます。

○会長

ありがとうございました。こちら、D委員さんどうぞ。

○D委員

我々とくしま学博士という名前を頂いておりますけれど、知らない方もいらっしゃるんです。とくしま学博士って何やってるんですか？って一度聞かれたことがあるんですけど、その時すぐ出てこなかったんです。今回はこれを具体的にと思ひまして、とくしま学博士は知事が校長を務めておりますシルバー大学校から大学院に進み、そしてとくしま学博士になるために、5枚以上の小論文とプレゼンを行ひまして、これの審査を受けます。審査を受けまして合格しましたら、とくしま学博士に認定されるわけですね。それで、それを頂きましたら、どのように活動するかと言ひますと、月に一回、だいたい会員が講座をしております。受講生は会員と一般の人、新聞に（広報）を出しますんで、それに依じて集まる大体20人前後で募集しますから20人程集まります。そして講義と質疑応答いろんな会話ができて楽しいんですけど、どういふ内容をしてるんでしようかというのと、結構内容面白いですよ。5月15日に総会ありましたでしょう？今年の場合ね。6月8日にはジェンダーについて。今ジェンダーが流行ってますでしょう。早速取り入れまして、ジェンダーからの見方。男と女。性的には女ですけど、今は平等じゃないですか。だけどジェンダーはついてまわりますからね。そのようなことを講師がお話するわけですね。そして次が、国家の攻防に海軍力が果たした役割は何か。こういうものを研究する回になります。そして、中世の鉄素材はどこから来たのか。それもまたその講師が研究して発表するわけですね。だいたいこういうのはスマホを使ってやります。鉄はどこからきたと思ひますか？韓国ドラマ見てると意外と参考になることが結構あります。鉄が取れたところがありますでしょう。そのものが日本に運ばれております。そして9月には私が、

院政と源平という分析をやりましたね。これはね、土御門上皇の生きた時代っていうのでありまして、これを選んだのは土御門上皇という方は、阿波神社で祭られているんですね。これは県が管理しておりますね。そういうのを含めて院政としました。

部外者からも講師を雇うんですけど、部外者の方たちはって言いましたら、どういう方って言いましたらね4人ほど今回選んでおりますけれど、癌の早期発見。これ必要でしょう。だからそういうのを含めて医学博士の山崎先生に来ていただいております。愛は人生の道しるべ。これ面白い内容のものでしたね。すべてに愛があるんです。中にはね、恋っていうのが出てくるんですけど、年齢を重ねてくると愛と恋がちょっとごちゃごちゃになってましてね。それ違うんじゃない？ってというような話も結構ありまして、楽しい時間のものになりましたね。あとは話し方教室。これ元アナウンサーの藪田ひとみ先生がお越しになりまして、人前で話す時はこうする。とか、いろんなことをお勉強させてくれるわけですね。要するにスキルアップ講座ですね。そして最近では、「東洲齋写楽」について、「写楽」は徳島出身なんですね。このことについて、丁山俊彦先生のお話を聞きました。

このようにして、楽しく時間を講師をしながら、部外者の講師を招きながら、日々楽しく、我々シニアは過ごしております。楽しさを求めています。元気でいつまでも寝たきりにならないために、元気でいられるように日々努力しております。よろしくお願い致します。

○会長

D委員からは、改めてとくしま学博士の勉強の過程、それから日々に活躍している様子を伺い知ることができます。ありがとうございます。他の委員の皆さん何かございますか。

○F委員

普段、エフエムびざんというコミュニティFMで仕事させていただいておりますので、広報的な視点で大きく二点ほどお伺いさせていただきたいと思っております。えっと、今年度新たにスタートしたSNSでの効果というところで、インスタグラムとXでの広報、情報発信されているというふうに伺いました。個人的に検索をしたりですとか。

拝見させていただいている中で、インスタグラムやXの特性として、ユーザー名で検索する方が多いかと思うんですけども、直感的にまなびーあ徳島ですとか、徳島県立総合大大学校というワードで検索したんですけども、見事に引っかからずですね、多分ユーザー名が徳島県立総合大大学校という形で括弧でくくるような形のユーザー名になっているようでして、直接一般の方が耳にしているワードで検索をしても引っ掛からないという現状があったので、そこを、いろいろとルールはあるかとは思いますが、何か考えて名前を付け直すとかした方が検索はしやすいのかなという気がしました。

今現在インスタグラムの方が204人のフォロワー、投稿数が12件ということで、まだ昨年8月に始まって以降、試行錯誤しながらというところがあるかと思うんですけども、今後、積極的な投稿を頂いたりですとか、こういった講座にこういった方が参加されているかっていう人の動きが見えると、より皆さん参加されるハードルも下がるのかなという気もしましたので、テキスト的な文字での周知っていうのももちろんですけども、視覚的な周知っていうところもぜひインスタグラムの特性になるので、また、積極的に行っていただきたいなと思いました。

あと、ホームページの方も拝見させていただきまして、講座検索というようなところがあるかと思うんですけども、こちら、「キーワード検索」の場所がありまして、キーワードを入力して検索というふうになっておったかと思うんですが。「キーワード検索」っていうのは結構難しく、キーワードを知っている方は入力して検索できるんですけど、そもそもどういう講座があるかわからない方からすると、何がキーワードなのかっていうのもわからないので、可能であればなんですが、例えばカテゴリー別で検索をかけられたりとか、そういうふうな工夫をしていただけると、より何を受けようかなって迷われている方の誘導っていう意味では、すごく検索がしやすいのかなというふうに感じました。

あとホームページをいろいろ見させていただいていると、まなびーあとくしまインターネット放送局というリンクを拝見いたしまして。そちらは登録者数者数167名で、動画が80件ほど上がっているようなんですけども、動画1件に対して、2人の登録者になるかならないかぐらいの人数の登録者で、もうちょっと伸ばせるんじゃないかなという伸びしろを感じております。

様々な過去の素晴らしい講演の数々が上がっておりましたので、私も見て、こんなことも知れるんや、というふうに、他の動画も見てみたいなと思ったので、YouTubeの方のチャンネルもぜひ積極的に、インスタグラムとかも活用しながら、過去の講座っていうところでもユーザーの方、利用者の方に知っていただけたらいいのではないかなというふうに感じました。以上3点です。

○会長

ありがとうございます。委員さんの方から、専門的な見地でインスタグラムやツイッター、ホームページの検索キーワードとか、カテゴリー別検索の件ですね。

それからもう一つはあと動画配信している、それについて少し、見られている方が少ないっていうご意見がありました。

○事務局

ホームページ等の運営に関しましても、アクセス数等調査しながら、伸びていくようにということで、いろいろこれからも工夫していかなければならないなというところを感じております。

それから SNS に関しましても、今年度から始めてまいりました。我々の方もまだ検索の仕方等含めまして研究して、より一層、県民の皆様の利便性を高めていくような形で改変を検討していきたいと思っております。ホームページに関しましては管理運営している業者とのやり取り等もございますので、その中にまたいろいろなアドバイスを受けながら、より良い環境に作り直していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

○会長

よろしいでしょうか、私も天に唾するようになってしまうんですけれども。県庁職員とか公務員ってそういうのは下手なんで、皆さんも大学校の運営協議会の委員として、より発信をして助けていただいたらありがたいかなというふうに思っております。それでは、G委員さんもし何かありましたら。

○G委員

失礼します。いろいろな場所にお邪魔して勉強させてもらっているところなんでございますけども、先だって奨励賞の交付式にも参加をさせていただきました。その時に小学校の子が奨励賞を受賞しているという、そういうシーンを拝見させていただきました。

先ほどのご説明中で講座数 2000 を超えるような講座数をしていただいております、一覧によりますと乳幼児から青少年、そして一般の、本当に幅広い年齢層をカバーするだけの講座数を準備していただいているというふうなことにとても感激をしました。

生涯教育、生涯学習という観点からも、今後もこのような形で、あらゆる年齢層をカバーできるような、たくさんの講座数を準備していただくこと、大変だと思いますけども、これからも尽力いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○会長

ありがとうございました。他ございませんでしょうか？どうぞ。

○H委員

資料の方、6 ページ見ていただきますと、こちら年度ごとの講座数と受講者数の一覧表があるんですけども、それを見ますとやっぱり一番多く多かったのが、平成 30 年、令和元年ごろ。この後コロナがあって、激減したというところで。これは、いろいろなものが、こういう状況でして、これは致し方ないところだったんですが。

今年度、昨年 5 月に 5 類になって、いろんな制限が無くなりましたけど、そういう中でもなかなかやはり、こういう生涯学習系が戻ってこないというのが、私の大学でも、人と地域共創センターというところで、様々な社会人への学習プログラム、それからリスキリングなども行っております。特に生涯学習に関して言うと、ぐっと数が減って、今年度、回復するかなということを期待していたんですけど、思ったよりも伸びなかったというのが、年度のまとめとしては感じるところです。

やはり2割から3割ぐらいは減った状態で上げ止まっているなという感じなんですけれど、こうしたところがやはりこういう総合大学校の方も同じ傾向なんだなと思います。今年度はコロナ、5類になれば戻ってくるだろうくらいの気持ちでいたところがあったんですけど、なかなかそうはいかないなという現実がありまして。やはり集客に関しては、違ったことを考えていかないといけないな、PR等も含めまして、戻ってこない数をどこでまたカバーして増やしていくかということを考えているんですけども。

この受講者数の、今年度の回復具合とかそれにつきましてはどういうふうになるかございますでしょうか。また、令和元年度等から比べると減っている部分っていうのは、今後どうしていこうというふうに考えているか、そのあたりございましたら聞かせていただきたいと思います。

○会長

H委員ありがとうございました。事務局いかがでしょう。

○事務局

今、H先生の方からご質問ございました希望者数がコロナの時からなかなか回復していない、してこないのをどうするのか、という話でございました。

コロナの時期から県立総合大学校本部の方で取り組んでいますのが、オンラインとかそういう形で、外に出ずに中でも、どんな時でも、どんな環境でも受講できるという講座をしていくっていうところでハイブリッド型の講座に力を入れて取り組んできたところでございます。令和2年度が4万人ぐらいの受講者になっているところが令和3年度、令和4年度と徐々に回復をしてきておりまして、今5年度今5万6千人という形になっておりますが、これが12月末までの数字となっております、令和4年度を上回る数字になるかと考えております。

H委員の御質問、今後どういう形のというところで、今年度は、ハイブリッドの方もそうなんですけど、現場に出てきて体験型の講座、ご紹介させていただいた、語学と体験という形の講座ですとか、体験する講座を受講者の方に受講者のかたが集まってくださっているようですので、来年度はコロナ以前のように、外に出て、講座を受けていただくという講座が増えればと考えております。もちろん、ハイブリット型として、先ほどご指摘いただきましたとおりオンラインとか動画の講座についても、力を入れていければと考えております。以上でございます。

○会長

ありがとうございました。生活習慣というものがなかなか変わらないというところはあられるかもしれませんが、ハイブリットで、ZOOM等を活用した講座を増やしていくということではございます。他、ございませんでしょうか？

○I 委員

お世話になっております。この徳島県立総合大学校ができてから、平成19年からここまで積み上げて来られてきて、前知事の時代から作られて運営されているかと思うんですけども、正直なかなか数字では現れない貢献の部分はたくさんあると思っております。なかなかこういう生涯学習講座というのは各学校で、徳島大学さん、四国大学さんはじめ、いろんなところでやっているかと思うんですけども、なかなか県民のところに届かないというところで、連携講座という形で届けてくださっているという大きな部分もあるかと思っております。

やはり。知事が変われば、いろんなご意見も出てくるかと思うんですけども、そういう届かないところに届けてくださっているとかですね。こういうのを活用して生き生きとされていらっしゃる方々がたくさんいるということですね、なかなかずっとこれから未来永劫、これを続けていくのが県として難しい判断が出てくることもあるかと思うんですけども、今日こういうのを見て数字が、コロナ禍の間とか減っているように見えてしまうということですね。このまなびーあ徳島を、生き生きとされていらっしゃる方がたくさんいらっしゃるということを、踏まえていただけますと、なかなか継続ってというのはずっとこれから続けていくっていうのも難しい局面が出てくるかもしれないですけど、この数字を見て、元気ないなという風に思われてしまう方が出てくるのかなと思われましたので、県の方でもバックアップをこれだけしっかりしてくださっているの、ぜひ続けていただけたらというのをあくまで感想にはなってしまうんですけども。数字見た目上これだけやっただきしているのになんていうのと、我々としても学校でやっているのも外に出して下さっているという部分がありますのでそういう御理解をしていただきますと、間に入っている我々も活用させていただいてますということをお伝えたくて、発言させていただきました。

○会長

どうもありがとうございます。私も全く同じ気持ちで、文理大学さんと四国大学、鳴門教育大学さん、徳島大学さんとやっておりますので、そういう高等教育さんとしても県と協力して進んでいけたらというふうに感じております。ありがとうございます。他にございませんでしょうか？

○G 委員

消費者庁の新未来創造戦略本部で客員研究官も務めています。消費者庁といろいろな情報交換をしておりますと、先ほど委員からもありましたように、今年、投資の詐欺が増えているということですね。

「投資しましょう」みたいな感じですがよく言っているのが、詐欺を増やしているというのが大きな問題だなんていう風に感じています。また、ICT を使えるようになりましてら

DX化ってということも、通信販売で届かないとか、粗悪品が届いたみたいなの、消費者トラブルを伴ってしまっているということがあります。

また、製品事故ですね。リチウムイオンバッテリーとか、充電式の製品はとても増えているんですけど、それはすごく危険物ですので、発火しやすいのに、それを知らない方がたくさんいて、火災が起こってるみたいなこともあります。

また高齢者の事故など、そういう生活のリスクについて、いろいろ情報発信をしていているけれども伝えきれていないので、伝えるような場所をどんどん作っていかなくちゃなというふうに感じているところです。

また、資料拝見させていただきますと「まちづくり実践講座」とてもいいなと思いました。話を聞いて終わりではなくって、やはり今後の地域づくりとか、地域の活性化につながるような講座、そして人々の交流を促したり、皆さんの活動の主体になっていくことを促すような講座っていうのがどんどん出てくるといいのかなっていうふうに思いました。以上です。

○会長

ありがとうございました。G委員さんからは未来に向けての行動を伴う大学校の運営ついて意見を頂戴しました。他にございませんでしょうか。どうぞ。

○H委員

よろしく申し上げます。私からはいつもお願いしております。子供たちと次世代育成というところで、もう少し子供たちが参加できたりとか、若い女性が自分たちのスキルアップができるような講座を増やしてほしいなと思います。やはり広報の部分。委員からもお話がありましたが、やはりまだまだ届いていない。すごくもったいないなと思います。

やはり若い女性、子育てしているお母さんたちに、子供たちの講座を伝えようと思うと、新聞ではない部分であったりとか SNSをもっともっと活用して、こうダイレクトに伝わっていくような方法を、また、委員の方で得意な方がいらっしゃるの、そういうのを活用して、もっと広めていってほしいなと思います。あとは、県西部でも、もっとたくさんの講座をしてほしいなということです。通常皆さん、西部から市内の方に出てきて講座を受けるっていうのが日常ですが、反対に県西部で面白い講座をしてもらえれば、市内の方から県西部に足を運んでもらうことも可能かと思えます。

あとはこの参加者人数なんですけど、年齢別で出してもらうことで、更にどの部分を強化していけば、人数が増えるんじゃないかっていうところも、検討できるんじゃないかと思えますので、もう少し深く掘りながら、来年度につなげていければいいんじゃないかなと思いました。以上です。

○会長

ありがとうございます。H委員さんからは、毎回子供たち、それから若い女性っていうご提言を頂いておりますので、十分また御検討よろしくお願ひしたいと思ひます。限られた時間でいっぱいございませぬか？どうぞ。

○I委員

今、情報発信というところで、我々農家、農業者、農業団体も情報発信ずっと課題、課題と言ひ続けながら、非常に苦手分野でして、極一部の人がちょっとできるし、ブロコリー農家さんとかで、SNSとかですごいフォロワー数を持っている方はいらっしやるんですけども、極一部のお話しかできないので、この冊子のページも農林水産が寂しいなという気持ちがあります。

何をしゃべっていいのかわからない農業分野の人もいるんですけど、例えば、栽培とかできないものとか、徳島県の食材を使った料理の紹介の講座とか、何か発信のヒントとただける働きかけをしていただければ答えられる人はもしかしたらいたりするのかなというところで、きっかけとバックアップをいただければ、この分野、僕自身は農業ってすごい魅力的なコンテンツだと思ひているので情報発信のお手伝いとかをしていただければ徳島県の評価が高い食品、農産物、水産物、いっぱいありますのでご協力いただけませぬか、というお願ひでございます。

○会長

委員さんの方から情報発信の手立て、リリース、方法論についてということですので、今すぐというのは難しいとは思ひますけれども、講座の中でそういうことができないかどうかということも含めて、御検討いただければというふうに思ひます。

大学でもですね、そういった知恵があるわけじゃなくて、本当は広告出したりとか、そういう力を借りたりすることもあるので、なかなか難しいっていうのは、事実ではありますけれども、そういう試みっていうのが、もしかしたら新しい総合大学の役割でもあるのかな。そうすると若い人たちとかね、そういう人たちも参加できるようになるやもしれないというふうに思ひました。さて、限られた時間、あともう一方、二方になりますけれども、どうぞ。

○J委員

先ほど先生仰ったように会員数が平成30年から、この時千人ぐらいなんですけども、500人いう感じで落ちているんですけど、だんだんと最近回復しつつあるという状況です。今回のこの資料見せていただいても、本校のクラブですね。歴史文化クラブとか、あるいはICTのクラブがたくさん載せられています。

先ほどから高齢者の詐欺の問題とか出ています。我々も毎月例会を開いていますので、その例会とかでね、もし皆さん委員さんの中で御協力いただけたら、そういう講座も開い

ていきたいと思いますので、ぜひご指導いただけたらありがたいと思いますので、よろしくをお願いします。

○会長

J委員さんどうもありがとうございました。まだ少しお時間ありますが、いかがでしょう？どうぞ。

○K委員

すごくたくさん、いろんな魅力的な講座があって。いろんな興味がある中、いろんな年齢の方が受講をしていただけるような講座がたくさん揃えられています。このいろんな年齢の方の分布がわかれば知りたいなと思ったことと、今後はコロナも明けたので、このいろんな年齢の方が交流できる場であったり、いろんな講座のいろんな興味のある方が、こんな講座があるよとか、交流できるような意見を交換できるような場が少しあってもいいのかなというふうに思いましたので、ありがとうございます。

○会長

ありがとうございます。事務局には検討いただきたいというふうに思います。では、限られた時間ですが、L委員とM委員さんをご発言がまだでないかなとは思いますが。どうぞ。

○L委員

建築設計事務所をしています。よろしくお願いします。私、この協議会に3回目、4回目ぐらい参加させてもらっているんですけど、その度に魅力的な講座をどんどんどんどん増えて、すごくしていて運営に携わっている方がすごくいろいろ考えて作っていられるとなるとすごく関心します。今年度の資料を見せてもらったんですけど、徳島ならではの講座をされていて。D委員さんがおっしゃっていたことなど、すごいなって新たにびっくりしてしまいます。県民の方々がいろいろ勉強されて、こうやって皆さんに教えていらっしゃる。そういうことができるのは、あまりないことだと思うので私も何か一緒に学んでいけるような年齢を重ねていきたいなと、今すごく思います。感想になりますけど、以上です。

○会長

ありがとうございます。では、M委員さん、何かありますか。

○M委員

少し発言させていただきます。暮らしのサポーターをしております。小松島市消費者生活センターで。

就職活動の相談を受けているという立場に今いますので高齢者の詐欺とか増えてるっていうのは、実際本当に確かなんです。講座とかも、県の消費者情報センターにご連絡いただければ、担当の者。得意な者を話し上手な者を迎えますし、あと消費者大学校というの

もありまして、まなびーあ徳島とまた違った分類で、それをより専門的にというのがございますので、そちらの方もご利用いただけたらと思うのと。私もこの委員をさせていただいており、前から思ってるんですが、ずっと仏像を掘りたいっていういつか仏像を掘りたいと思うんです。それをずっと阿南市で行ってくださっているのもうずっと続いていただきたいんですけれども、高齢化が進んでいます。その相談員もそうですし、あとトラブルにあった方を隅々まで見守るためにということで見守りネットワークというのも存在するんですけれども、それにあたりまして、動きやすいそうですね。50から67、70ぐらいまでの方っていうのも、入れ替わりもほとんどなくですね。今現在も米寿を迎えた方が先頭切って走ってくださっているという状況で、「わかってるよねMさん」という声はかかるんですけれども、私もしたいけど何ができるのかということで、一人の心ではできない団結しなければいけないという方面に向かってきているんだなと思います。

あとですね。検索させていただいた時にですね。手帳もありましたし、学生証もありましたし、私にも楽しい未来が待ってるんだなということにまなびーあ徳島があって良かったなと思っております。

コマーシャルになってしまうんですけれども、ユーチューブの方で、国民生活センターが「パンダマン」というキャラクターを使って、身近に迫ってきている詐欺をアニメーションにして、どういった方法で対策していくかというのが紹介しているんです。で、パンダは突然来るんですけれども、その時の言葉が。「君の心の動揺が僕を呼んだのさ」っていうんですね。動揺だけで駆けつけて詐欺被害を防げるようになればいいんですが、それが実際はできないので協会に来られた方の中には皆さんご存知と思うんですが。消費者ホットライン188。泣き寝入りはいやである。ということで、消費者ホットライン188にご連絡していただければ、確実にご相談して助けられることも多い電話番号になっておりますので、ご利用いただけたらと思います。ありがとうございます。

○会長

どうもありがとうございました。まだまだ、皆さんご意見あるかと思うんですけれども、終了の時間がまいりましたので、これで、意見交換を終了したいと思います。ありがとうございました。事務局におかれましては、委員の皆様からいただいたご意見ご提言を十分踏まえまして。今後の総合大学校の運営に取り組んでいただきますようお願いいたします。次に、その他ですが、事務局なにかございますか。

○事務局

ありがとうございます。それでは一点報告をさせていただきます。県立総合大学校「まなびーあ徳島」につきましては、平成20年に開設されまして、これまで南庄町にあります、自治研修センター内に設置された県立総合大学校本部で事務局を担ってまいりまし

た。この度、令和6年度の定期人事異動の組織改編に伴いまして、令和6年4月以降は事務局の機能が県庁内にあります生活環境部生活環境政策課が担当することになりました。

事務局の組織は変わりますが、「まなびーあ徳島」につきましては、これまで通り運営してまいりますので、委員の皆様方には引き続きご支援、ご協力を頂けますよう、よろしくお願いいたします。以上です。

○会長

ありがとうございました。連絡がありまして、生活環境部生活環境政策課で事務をすることになるということですが、それでは会議の議事につきましては、事務局で取りまとめたものを確認させていただいた上で、公表の手続きをさせていただきたいと思っております。よろしいでしょうか。ありがとうございます。それではこれで本日の議題はすべて終了いたしました。運営にご協力を頂き、ありがとうございました。それでは事務局に進行をお返しいたします。

○事務局

ありがとうございました。以上をもちまして運営協議会を閉会させていただきます。皆様、長時間にわたり、大変お疲れ様でした。本日はありがとうございました。